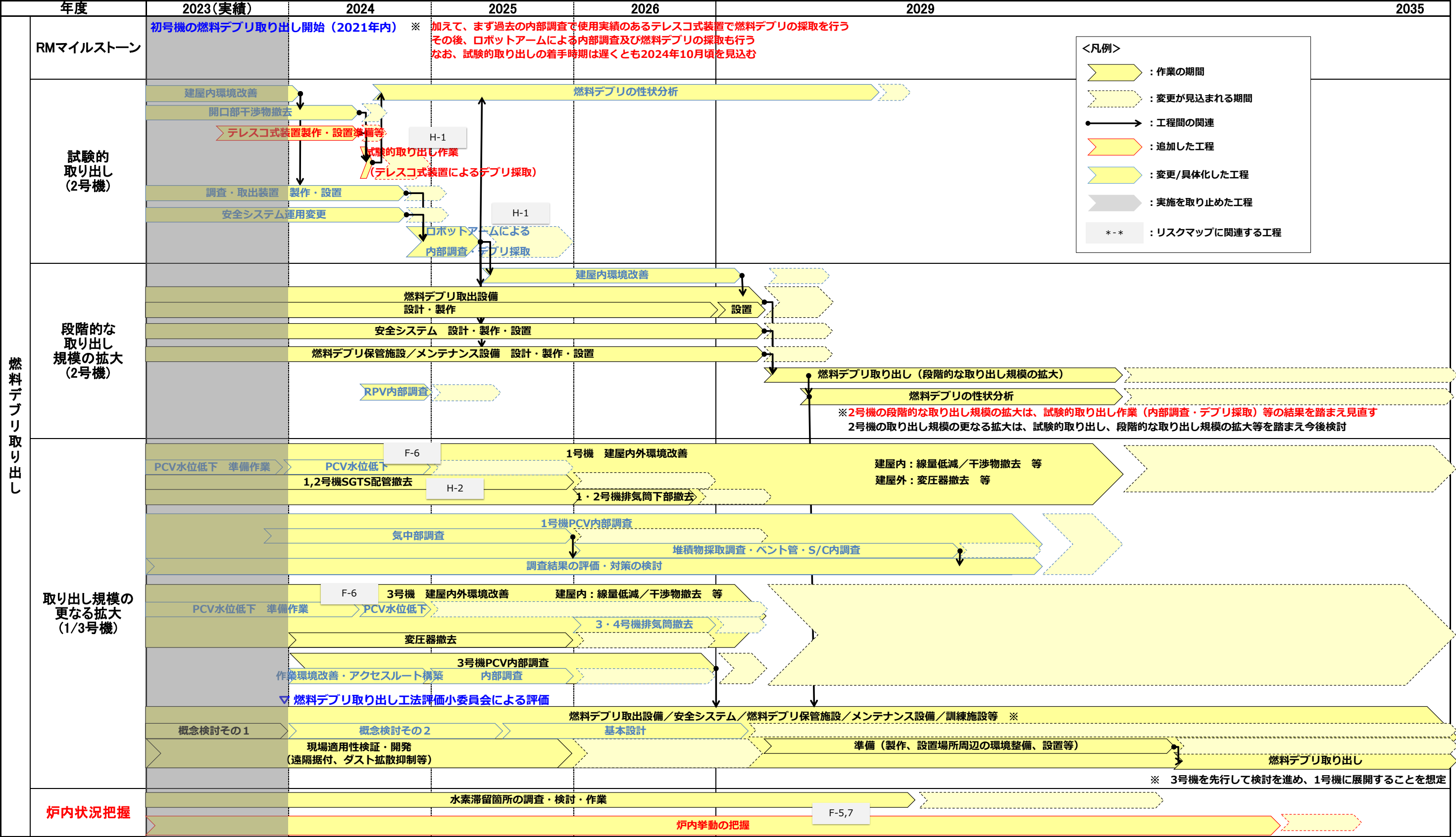


1 / 3

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	廃炉中長期実行プラン2024 目標工程	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	9月		10月						11月			12月			1月			2月			3月			4月以降	備 考						
					29	30	1	6	13	20	27	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下									
		P V / P C V 健全性維	圧力容器 /格納容器の 健全性維持	(実 績) 3号 (予 定)	現場作業																														
				(実 績) ○腐食抑制対策 ・窒素ハプリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施（継続） (予 定) ○腐食抑制対策 ・窒素ハプリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施（継続）		現場作業	腐食抑制対策（窒素ハプリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減）																					(継続実施)							
		炉心状況把握	炉心状況把握	(実 績) ○事故関連factデータベースの更新（継続） ○炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新（継続） (予 定) ○事故関連factデータベースの更新（継続） ○炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新（継続）	検討・設計	事故関連factデータベースの更新																												(継続実施)	
				(予 定) ○炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新		炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新																												(継続実施)	
		取出後の燃 料・デ ブリ安定保管	燃料デブリ 性状把握	(実 績) ○2号機燃料取扱機操作室調査の実施 ○2号機原子炉建屋内調査（地下階三角コーナの状況確認） ○3号機原子炉建屋内調査の実施 (予 定)	現場作業																														○原子炉建屋内調査（地下階三角コーナの状況確認） '22/12/2～'23/1/11（片付け含む） ○3号機原子炉建屋内調査 '24/5/13～'24/6/14
				(実 績) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等（継続） (予 定) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等（継続）		検討・設計	【研究開発】燃料デブリの性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等																												(継続実施)
燃料デブリ取り出し準備	●燃料デブリの処理・処分方法の決定に向けた取り組み		燃料デブリ 性状把握		現場作業																														
		燃料デブリ臨 界管理技術の開発	燃料デブリ 臨 界 管 理 技 術 の 開 発	(実 績) ○【研究開発】臨界管理方法の確立に関する技術開発 ・未臨界度測定・臨界近接監視のための技術開発（継続） ・臨界防止技術の開発（継続） (予 定) ○【研究開発】臨界管理方法の確立に関する技術開発 ・未臨界度測定・臨界近接監視のための技術開発（継続） ・臨界防止技術の開発（継続）	検討・設計	【研究開発】「燃料デブリ・炉内構造物の取り出しに向けた技術の開発」の一部として実施 ・未臨界度測定・臨界近接監視のための技術開発																												(継続実施)	
				現場作業		・臨界防止技術の開発																												(継続実施)	
燃料デブリ取り出し準備	●段階的な取り出し規模の拡大（2号機）	燃料デブリ収 納・移 送・保 管技術の開発	燃料デブリ 収 納 ・ 移 送 ・ 保 管 技 術 の 開 発	(実 績) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 粉状、スラリー・スラッジ状の燃料デブリ対応（継続） 燃料デブリ乾燥技術/システムの開発（完了） (予 定) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 粉状、スラリー・スラッジ状の燃料デブリ対応（継続）	検討・設計	【研究開発】粉状、スラリー・スラッジ状の燃料デブリ対応 （粉状及びスラリー・スラッジの分析等）																												(継続実施)	
				現場作業																															

- 凡 例
- ： 検討業務・設計業務・準備作業
 - ： 現場作業予定
 - ： 機器の運転継続のみで、現場作業（工事）がない場合
 - ： 記載以降も作業や検討が継続する場合は、端を矢印で記載
 - ： 工程調整中のもの



注：今後の検討に応じて、記載内容には変更があり得る